

令和8年度の重点的な取り組み

1. 安心な子育て環境の充実 —「子育てパラダイス」の実現—

子どもたちが健やかに育ち、保護者のみなさんが安心して子育てできるよう支援を拡充します。

子ども医療費助成の拡充

令和8年9月診療分から助成対象年齢を18歳到達年度末(高校生世代)まで引き上げ、県内医療機関における窓口負担の無償化(現物給付化)を拡充します。



給食の無償化

小中学校および幼稚園の給食を無償化します。また、保育所3歳児以上の主食提供や給食の無償化を実施し、経済的負担を軽減します。



高校生の学びを支える

市内在住の高校生に対する通学費などの補助を実施します。



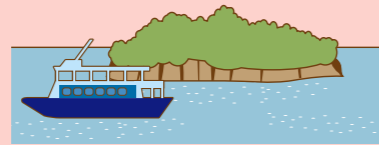
子育て環境の整備

加茂地区に放課後児童クラブ「どんぐり」の開設や子育て支援センターでの「こども誰でも通園制度」の開始など、子育て環境の整備を図ります。



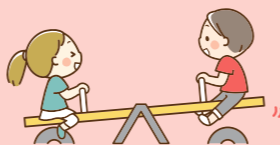
離島小・中学生の移動支援

離島に在住し、離島の小学校や中学校へ通学する児童生徒を対象に市営定期船に係る経済的負担を軽減します。



公園の魅力アップ

市民の森公園(通称:ガリバー公園)において、インクルーシブ遊具の設置など、誰もが楽しめる公園への改修に向けた基本設計に着手します。



2. DX推進で、より便利で効率的な行政へ

デジタル技術を積極的に活用し、行政サービスの向上と業務効率化を推進します。

業務のスマート化

統合内部事務システムの導入やとば公式LINEチャットボットなどの活用により、効率的でスピーディーな行政サービスを目指します。



窓口での負担を軽減

道路台帳の電子化や窓口支払いのキャッシュレス化を推進し、来庁時の手続き簡素化など、市民のみさんの利便性向上を図ります。



3. 日常に根ざした「地域防災力」の強化

災害に強いまちづくりを目指し、ハード・ソフト両面から備えを強化します。

防災啓発の実施

訓練や講演会、研修の実施、赤ちゃん防災バッグを通じた啓発など防災意識の向上を図ります。



地域防災のバックアップ

自主防災組織による避難路整備や防災倉庫の設置、自主防災活動を支援します。また、観光施設と連携した防災資機材の整備も推進します。



避難所の備え

大規模災害に備え、食料などの備蓄を増強します。



令和8年度の当初予算をお知らせします

財政課財務係 TEL 25-1121

令和8年度 当初予算総額 238億8,100万円

令和8年度の当初予算をお知らせします。一般会計予算では、148億円(前年度^(※)に比ベ7億9,300万円(5.7%)の増となっています。

また、国民健康保険事業特別会計など4つの特別会計予算は合計で69億3,900万円、水道事業と下水道事業を合わせた企業会計予算は21億4,200万円、これらの会計を合わせた令和8年度当初予算総額は238億8,100万円です。

※令和7年度は市長選挙を控えていたため、必要最小限の経費などを計上した骨格予算として編成したことから、市長選挙後の肉付け予算となる令和7年度6月補正後と比較しています。

令和8年度当初予算 (単位:千円・%)

会計名	令和8年度	令和7年度 (6月補正後)	前年度比較		
			増減額	伸率	
一般会計	14,800,000	14,007,000	793,000	5.7	
特別会計	国民健康保険事業	2,640,000	2,690,000	△50,000	△1.9
	介護保険事業	2,863,000	2,843,000	20,000	0.7
	定期航路事業	777,000	665,000	112,000	16.8
	後期高齢者医療	659,000	624,000	35,000	5.6
	小計	6,939,000	6,822,000	117,000	1.7
企業会計	水道事業	1,943,200	2,001,105	△57,905	△2.9
	下水道事業	198,800	208,400	△9,600	△4.6
	小計	2,142,000	2,209,505	△67,505	△3.1
合計	23,881,000	23,038,505	842,495	3.7	

一般会計予算の概要

本年度は、新市長就任後初となる当初予算として「子育てパラダイス」を市政の優先課題と位置付け、予算の編成を行いました。歳入面では、4月から徴収を開始した県内初の宿泊税を安定財源として組み込み、歳出面では、子どもたちの経済的支援や環境整備に重点配分を行っています。将来を担う子どもたちのための経済的支援や環境整備を重点的に強化しました。未来の鳥羽に向けた挑戦を加速させる予算です。

一般会計予算 148億円 前年比5.7%(7億9,300万円)増額

